



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 東洋シャッター株式会社  
 コード番号 5936 URL <https://www.toyo-shutter.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 敏夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画統括部長 (氏名) 野中 真也 TEL 06-4705-2125  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月12日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	21,455	2.8	1,249	△3.9	1,179	△2.6	829	4.7
2025年3月期	20,871	△2.9	1,301	△12.1	1,210	△11.4	792	△17.4

(注) 包括利益 2026年3月期 1,195百万円 (67.1%) 2025年3月期 715百万円 (△38.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	131.05	—	8.3	6.4	5.8
2025年3月期	125.16	—	8.6	6.2	6.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	18,090	10,448	57.8	1,649.98
2025年3月期	18,719	9,493	50.7	1,499.09

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,448百万円 2025年3月期 9,493百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	197	△106	△782	3,107
2025年3月期	△160	△66	△672	3,799

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00	240	30.4	2.6
2026年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00	265	32.0	2.7
2027年3月期 (予想)	—	0.00	—	43.00	43.00		34.0	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,400	△7.3	240	△36.6	200	△38.6	140	△30.0	22.11
通期	22,000	2.5	1,320	5.6	1,230	4.3	800	△3.6	126.34

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期	6,387,123株	2025年3月期	6,387,123株
2026年3月期	54,904株	2025年3月期	54,298株
2026年3月期	6,332,500株	2025年3月期	6,333,198株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	21,455	2.8	1,244	△2.0	1,173	△0.5	827	7.8
2025年3月期	20,871	△2.9	1,270	△16.0	1,179	△15.7	767	△22.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	130.61	—
2025年3月期	121.19	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2026年3月期	17,576	10,011	10,011	57.0	57.0	1,581.02	1,581.02	
2025年3月期	18,575	9,402	9,402	50.6	50.6	1,484.76	1,484.76	

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,011百万円 2025年3月期 9,402百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11
4. その他 .....	11
(連結製品別売上明細) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられる中、各種政策等の下支えもあり、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安進行等に伴う原材料価格や資材価格の高止まりに加え、中東情勢の緊迫化に伴う影響が予断を許さない状況にあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当シャッター業界を取り巻く状況としましては、民間設備投資需要は堅調ながら、人手不足等から建築案件のリスケジュールが多くみられる中、中・大型物件における受注競争は依然として激しく、厳しい競争環境が継続しております。

このような環境下、当社グループは、5ヶ年の中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』の初年度をスタートし、ROE10%達成など9つのKPIの達成に向け、基幹事業の強化、企業品質向上、成長戦略及び人的資本投資への取り組み等に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度における受注高は前年同期比3.0%減の20,925百万円となり、売上高は21,455百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は1,249百万円（前年同期比3.9%減）、経常利益は1,179百万円（前年同期比2.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は829百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

#### （主要製品の販売状況）

軽量シャッターにつきましては、重点的に取り組みましたが需要の停滞もあり、売上高は2,602百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

重量シャッターにつきましては、積極的な受注活動により、売上高は6,343百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

スチールドアにつきましては、大型案件での受注競争が激しく、売上高は3,929百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

修理・点検につきましては、積極的な営業活動が奏功し、売上高は5,366百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （資産）

当連結会計年度末における流動資産は前連結会計年度末に比べて817百万円減少し、10,597百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて187百万円増加し、7,493百万円となりました。これは主に退職給付に係る資産の増加によるものです。

#### （負債）

当連結会計年度末における流動負債は前連結会計年度末に比べて1,352百万円減少し、4,645百万円となりました。これは主に支払いサイトの短縮に伴う支払手形の減少によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて231百万円減少し、2,996百万円となりました。これは主にリース債務の減少によるものです。

#### （純資産）

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比べて954百万円増加し、10,448百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて691百万円減少し、3,107百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は197百万円（前年同期は160百万円の資金減少）となりました。これは主に仕入債務の減少額の減少によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同期に比べて39百万円増加し、106百万円となりました。これは主に固定資産の取得による支出の増加によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べて109百万円増加し、782百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出の増加によるものです。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復が続くことが期待される一方で、中東情勢の緊迫化が輸入原材料調達に及ぼす影響や、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響、米国の政策動向などが我が国の景気下押しリスクとして懸念され、依然として先行きが見通せない状況にあります。

また当シャッター・ドア業界においては、民間設備投資需要は引き続き持ち直しの動きが続くとみられるものの、物流コストや人件費の上昇、原材料の価格や供給動向が業績に影響を及ぼす可能性があり、不安定な事業環境が続くことが予想されます。

かかる状況下、当社グループは中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』の2年目を迎え、最終年度の数値目標である売上高250億円、営業利益20億円、ROE10%、PER10倍、戦略的キャッシュアロケーション15億円などの達成に向けて、より一層基幹事業の強化や企業品質向上、成長戦略と人的資本投資、サステナビリティなどの重点施策に着実に取り組んでまいります。

2027年3月期の通期業績予想といたしましては、売上高は22,000百万円、営業利益は1,320百万円、経常利益は1,230百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は800百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実性やリスクを含んでおります。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、中長期的な企業価値の向上と安定的な経営基盤の確保に努めながら、株主の皆様への利益還元とのバランスの最適化を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。今後につきましても、企業品質向上やSDGsへの取り組みを推進するための設備投資や研究開発に必要な内部留保を確保しつつ、財務状況も勘案のうえ、最適かつ積極的なキャッシュ・フロー配分を行ってまいります。

この方針に基づき、当期の剰余金の配当につきましては、2026年5月14日に「剰余金の配当に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、1株あたり年間42円00銭の配当を行います。

なお、中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』に記載いたしましたとおり、最終年度である2030年3月期の配当性向については40%を目標としております。

また、2026年度につきましては、1株あたり43円00銭の年間配当を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は現在国内に限定されており、海外の事業展開を行っていないことと連結財務諸表の期間比較、企業間の比較可能性を考慮し、国内他社のIFRS採用動向を踏まえ、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,799	3,107
受取手形	198	116
売掛金	2,868	2,724
契約資産	984	866
電子記録債権	823	1,167
仕掛品	1,088	954
原材料及び貯蔵品	1,332	1,291
その他	324	371
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	11,414	10,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,710	6,777
減価償却累計額	△5,850	△5,931
建物及び構築物(純額)	859	845
機械装置及び運搬具	2,977	2,777
減価償却累計額	△2,917	△2,646
機械装置及び運搬具(純額)	59	131
工具、器具及び備品	950	965
減価償却累計額	△815	△834
工具、器具及び備品(純額)	135	130
土地	3,557	3,557
リース資産	1,523	1,360
減価償却累計額	△517	△519
リース資産(純額)	1,005	840
有形固定資産合計	5,617	5,505
無形固定資産		
電話加入権	24	24
リース資産	159	122
その他	4	56
無形固定資産合計	187	203
投資その他の資産		
投資有価証券	169	103
退職給付に係る資産	917	1,453
繰延税金資産	160	—
その他	252	230
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	1,499	1,784
固定資産合計	7,305	7,493
資産合計	18,719	18,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,728	757
電子記録債務	534	349
短期借入金	1,000	900
1年内返済予定の長期借入金	193	61
リース債務	244	231
未払金	504	619
未払法人税等	327	116
契約負債	159	176
賞与引当金	595	614
工事損失引当金	346	272
その他	364	545
流動負債合計	5,998	4,645
固定負債		
長期借入金	2,136	2,075
リース債務	1,058	854
退職給付に係る負債	27	20
繰延税金負債	—	41
その他	4	4
固定負債合計	3,227	2,996
負債合計	9,226	7,642
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,024	2,024
資本剰余金	186	186
利益剰余金	7,243	7,833
自己株式	△49	△50
株主資本合計	9,404	9,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	46
退職給付に係る調整累計額	65	408
その他の包括利益累計額合計	89	455
純資産合計	9,493	10,448
負債純資産合計	18,719	18,090

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	20,871	21,455
売上原価	15,173	15,676
売上総利益	5,697	5,778
販売費及び一般管理費	4,396	4,528
営業利益	1,301	1,249
営業外収益		
受取保険金	1	18
保険配当金	23	22
その他	19	28
営業外収益合計	43	69
営業外費用		
支払利息	89	104
シンジケートローン手数料	35	21
その他	8	14
営業外費用合計	134	140
経常利益	1,210	1,179
税金等調整前当期純利益	1,210	1,179
法人税、住民税及び事業税	470	315
法人税等調整額	△52	33
法人税等合計	418	349
当期純利益	792	829
親会社株主に帰属する当期純利益	792	829

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	792	829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	22
退職給付に係る調整額	△77	343
その他の包括利益合計	△77	365
包括利益	715	1,195
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	715	1,195
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,024	186	6,647	△49	8,808
当期変動額					
剰余金の配当			△196		△196
親会社株主に帰属する当期純利益			792		792
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	596	△0	595
当期末残高	2,024	186	7,243	△49	9,404

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	24	142	166	8,975
当期変動額				
剰余金の配当				△196
親会社株主に帰属する当期純利益				792
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	△77	△77	△77
当期変動額合計	△0	△77	△77	518
当期末残高	24	65	89	9,493

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,024	186	7,243	△49	9,404
当期変動額					
剰余金の配当			△240		△240
親会社株主に帰属する当期純利益			829		829
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	589	△0	588
当期末残高	2,024	186	7,833	△50	9,992

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	24	65	89	9,493
当期変動額				
剰余金の配当				△240
親会社株主に帰属する当期純利益				829
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22	343	365	365
当期変動額合計	22	343	365	954
当期末残高	46	408	455	10,448

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,210	1,179
減価償却費	409	419
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△7
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△42	△38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	18
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	196	△74
受取利息及び受取配当金	△3	△6
支払利息	89	104
シンジケートローン手数料	35	21
売上債権の増減額 (△は増加)	640	△2
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△20	174
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,314	△1,155
未収入金の増減額 (△は増加)	288	49
その他	△203	134
小計	317	818
利息及び配当金の受取額	3	6
利息の支払額	△90	△103
法人税等の支払額	△391	△523
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160	197
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	100	—
投資有価証券の取得による支出	△100	△0
固定資産の取得による支出	△57	△101
貸付けによる支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	0	2
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△8	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66	△106
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,239	△193
シンジケートローン手数料の支払額	△63	△2
リース債務の返済による支出	△173	△247
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△195	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△672	△782
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△900	△691
現金及び現金同等物の期首残高	4,699	3,799
現金及び現金同等物の期末残高	3,799	3,107

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自2024年4月1日至2025年3月31日)及び当連結会計年度(自2025年4月1日至2026年3月31日)

当社の報告セグメントは単一でありますので、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,499.09円	1,649.98円
1株当たり当期純利益	125.16円	131.05円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	792,635	829,895
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	792,635	829,895
普通株式の期中平均株式数(株)	6,333,198	6,332,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

(連結製品別売上明細)

品名	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)		増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
軽量シャッター	2,651	12.7	2,602	12.1	△1.8
重量シャッター	5,807	27.8	6,343	29.6	9.2
シャッター関連	2,616	12.6	2,554	11.9	△2.4
シャッター計	11,075	53.1	11,500	53.6	3.8
スチールドア	4,119	19.7	3,929	18.3	△4.6
建 材 他	561	2.7	658	3.1	17.2
修理・点検	5,115	24.5	5,366	25.0	4.9
合 計	20,871	100.0	21,455	100.0	2.8